

令和6年度（2024年度）宝塚市人権教育推進委員会（概要）

会議名	令和6年度（2024年度）第5回 宝塚市人権教育推進委員会
日時	令和6年（2024年）11月27日（水）10:00～12:00
場所	宝塚市役所 3B会議室
出席数	■ 宮前委員 ■ 能勢委員 □ 坂本委員 ■ 伴委員 ■ 岩室委員 ■ 杉村委員 ■ 奥委員 ■ 井上委員 ■ 林委員 ■ 福住委員 ■ 菅委員 ■ 有賀委員 ■ 小玉委員 ■ 川島委員 ■ 久保委員 (■出席/□欠席)
傍聴者	0名

- 1 開 会
- 2 係長あいさつ
- 3 保護者を対象とした人権教育や人権啓発に関する意識調査について
- 4 各地区を対象とした人権教育や人権啓発をすすめるための意識調査について
- 5 その他

事務局：それではただ今より第5回宝塚市人権教育推進委員会を開催いたします。開催にあたり学校教育課係長、加藤よりご挨拶を申し上げます。

係 長：本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。前回、前々回に引き続きましてアンケートについての内容の検討を進めていきたいと思っています。さらなる改善を図り、実施に向けてみなさんでより良いご協議を進めていただきますようお願い申し上げます。それでは本日もよろしく願いいたします。

事務局：はじめに本日の会議の成立についてですが、定数15名に対し、本日の委員出席は13名（その後1名遅れて参加）ですので過半数を超えており、宝塚市人権教育推進委員会規則第5条第2項の規定により、会議が成立していますことをご報告申し上げます。それではこれからの議事進行につきまして、委員会規則、第5条第1項の規定によりまして、本日坂本委員長が欠席のため、伴委員に委員長代理としてお願いしたいと思います。

委員長代理：まず事務局にお尋ねします。この委員会は原則公開ということになっていますが、本日傍聴者はいらっしゃいますか？

事務局：いらっしゃいません。

委員長代理：わかりました。それでは議事に入らせていただきます。前回は保護者用アンケートの質問25まで検討していただいたと思います。本日は質問26から最後まで確認していきたいと思っています。

事務局：前回時間をかけて検討していただきました、「参加した方」と「参加されなかった方」の分岐の質問の所について、システムを調べたところ、上手く出来そうなものが見つかりましたので、今は分岐の方が出来ている状態になっています。たとえば質問6「人権参観には参加されていますか」で「参加している」を選べば、「参加された理由を教えてください」が出てきます。「参加していない」を選べば「参加されない理由を教えてください」が出てくるという形になります。また、

今日あらためて見ていただいて、前回は気にならなかったけど、今回は引っ掛かるというものがもしかしたら出てくるかも知れません。あとこの選択肢であれば答えやすい人がいるだろうというものがありましたら、追加したいと思いますのでご意見をいただけたらと思います。

委員長代理：では質問26「宝塚市教育委員会が主催している『じんけん講座Ⅰ』をご存知でしょうか」についてみなさんご意見をお願いします。

委員：あとに出てくる『じんけん講座Ⅱ』との違いはあるのでしょうか？

事務局：『じんけん講座Ⅰ』は幅広く人権課題を取り扱う講座で年間4回行っています。講座ごとに、できる限り違う人権課題を取り扱っていくようにしています。『じんけん講座Ⅱ』は原則、連続講座という形で、4回とも同じ内容で深めていただきます。その内容は部落差別に特化したものになっています。

委員長代理：質問だけでは『じんけん講座Ⅰ』と『じんけん講座Ⅱ』の違いがはっきりと分からないので、質問しながら説明をつけておくのか、説明をつけずにいくのか。啓発込みで考えた方が良いとは思いますが。

委員：幅広く保護者の方々にも知ってもらおうということであれば、簡単に説明を記載していただくと啓発にはなると思いますが、事務局の方針としてそこまでのことではなく、ⅠとⅡの講座についてどれくらいの人知っているのか、知らないのかということが知りたいのであれば、特に説明を書かなくても良いのではないかと思います。たとえば講座に実際に参加された方に、最初の時に講座の趣旨を説明していただくとか、ちらしの配布の時に触れてもらうので良いのかなと思います。事務局が何をアンケートで掴みたいのかによるのかなと思います。

委員：じんけん講座ⅠとⅡの内容が違うというのは分かったのですが、周知方法を変えていたりとか何か異なったやり方で教育委員会としてPTAとか市民にアプローチされていますか？ⅠとⅡを分ける意味があるのかどうか。例えば「じんけん講座ⅠとⅡを知っていますか」という聞き方もできると思います。ⅠとⅡでは内容は違いますが、内容の違いがあつてそれを知りたいのであれば分けることに意味はありますが。例えばⅠとⅡでアプローチの仕方が全然違うとかターゲットが違うとかであるなら分けないといけないですが、そのあたりはどうでしょうか？

委員：以前はⅠに出た人にⅡもどうぞという形で案内をされていたと思いますが、今はどうですか？

事務局：周知方法や対象は分けたりはしていません。講座Ⅰにご参加いただいた方にはⅡの案内もしています。

委員：案内をいただいた時にまず講座Ⅰか講座Ⅱを調べるのではなく、この日に出席できるかどうかまず日程から入っていくと思います。そこから内容を見て、その上にあるⅠとかⅡを見ます。日程が合わなければⅠであろうがⅡであろうが参加できないということです。参加する人はそんな区別はしていないと思います。だからⅠとⅡに分ける必要はないと思います。

事務局：厳密には中央講座の時代があつて入門編という形でじんけん講座Ⅰの位置づけがあり、そこからさらに部落差別についてしっかり学んでいただきたいという形でじんけん講座Ⅱが行われてきていたと思いますが、参加者の拡充とかもあり、周知している中には、その入り口が結局ⅠもⅡもいきなりⅡから、しかもⅡを単発でみたいなど参加の形のパターンも十分あり得てしまうのが正直難しいです。ⅠとⅡの参加数を厳密に比べているわけではないので、これ自体は分かりませんが、アンケート自体は、「参加したことがある」と「知っている」という部分が2つ要素として有りますので、Ⅰが入門編のような立ち位置であるので、じんけん講座Ⅰの方が参加が多いとか、反対にじんけん講座Ⅱ（部落差別）に特化しているものの方が参加が多いとか、2つを分けてお

くことで、何か差があった場合に見ることができるかなという所で分けておくメリットも一定あるのかと考えています。周知方法が同じ形になっていますので、セットにしてもあまり変わらないというのも十分そうだと思いますので、もし分けたままでも良ければ参加率の違いみたいなのが少し見られるのであれば分けておいても良いのかと思います。

委員：参加人数の把握ということであれば参加される方がⅠとⅡの違いをはっきりと知っているということが大前提になります。それでないと比較の対象にはならないと思います。

委員長代理：事務局的には分けた方が良いのですか？講座名を見て、日付を見て、ここなら行けるということで参加されている方がこのアンケートを見た時に、どちらに参加したか迷って、分からないから回答しないということもあるかも知れません。

委員：各講座の行われた日付を書いておけば間違わないと思います。

委員：PTAから参加した方はたぶん話の内容は覚えているので、どういう内容だったかを箇条書きにしておけば参加した講座を思い出せます。

委員長代理：問26と問27「宝塚市教育委員会が主催している『じんけん講座Ⅱ』をご存知でしょうか」を同時に検討しましたが、分ける形で事務局にまとめていただくのと簡単な説明を付けていただく。今年度の具体的な内容を書いていただくという事でお願いします。

委員長代理：続いて問28「宝塚市教育委員会が主催している『子ども人権ミュージカル』をご存知でしょうか」です。これについていかがでしょうか？毎年ソリオホールで8月に開催しているものです。「参加（応募）したことがある」「知っているが参加（応募）したことはない」「知らない」の中から回答します。

委員：この回答を見た時に、その公演を見に行くという参加なのか、子どもが舞台に立つ方の参加なのか分からないのですが。

事務局：これは劇団の方にお越しいただいてやっていますので、子どもが舞台に立つということはありません。参加よりも鑑賞の方が良いでしょうか？

委員長代理：それでよろしいでしょうか？（特に意見なし）

委員長代理：次は問29「各小学校区での人権啓発行事（校区人権）をご存知でしょうか」ですがこれについてご意見をお願いします。

委員：「人権啓発行事」に少し引っ掛かります。「人権啓発推進委員会そのものを知っていますか」なのか「人権啓発推進委員会がしている行事に参加したことがありますか」なのか。

委員：そうすると2つ質問をしていただかないといけなくなりますね。

委員：これは行事に参加したかどうかという質問なんですね。

事務局：当初の狙いはそうですが、ご意見をいただいて、2つに分けた方が良いのであれば分けることは可能です。

委員：校区人権が主催している行事だと分かって来てくださっている方と人権の勉強会があるから誘われて来ていますという方と2通りあると思います。後者の方が多いです。PTAの役員として来られている方は校区人権の勉強会という位置づけで来てくださります。校区人権推進委員会があ

るという事実が、なかなか周知されないです。

委員：PTAのお母さん、お父さんが校区人権を知っていますか？という質問であると私は解釈しました。学校ごとに校区人権があって色々な行事を行っています。それに子どもたちと一緒に学校に行って、校区人権がやっている行事を見たとか手伝ったという部分はあると思いますが、普通に校区人権を知っていますかと書いてあると思って見ていました。

委員：校区人権があるということを知らない人の方が多いと思います。PTAとか校区人権に関わっている人は知っていますが、3地区の会館で行事をしたとしても市役所が実施していると思っています。あるいは自治会の行事と思っています。学校で保護者の方が校区人権を知っているのかなと思います。宣伝の仕方やアピールの仕方がちょっとどうかなと思います。

委員：「自分の学校にある校区人権を知っていますか」というのと「そこが主催している行事に参加したことがありますか」というのを作っていただければ嬉しいかなと思います。

委員：そもそもこの質問は「人権啓発行事」を知っていることを聞きたいのか、そういう「組織」があることを聞きたいのか。例えばその組織があることを聞きたいとしても他にも人権に関する組織があるはずなので、そこだけ突出して聞く意味が必要になると思うのですが、そのあたりはどうでしょうか？

事務局：校区人権が主催する行事に保護者が足を運ぶことがあるのかどうかを聞きたかったのです。なので「知っている」と「参加したことがある」という2つの側面を聞くときに、選択肢①「参加したことがある」を選んだ方は、知っているから参加したことになるので、校区人権の存在を知っているになると思います。②の選択肢は「知っているが参加したことはない」③の選択肢は「知らない」となっていて、知っているかと参加したことがあるかという両方がこの1つの質問で聞くことができると考えています。

委員：校区人権の存在を保護者の方が知っているかどうか聞きたいところもあります。「知っている」を選んだ後に「行事に参加している」、あるいは「参加していない」に飛ぶような設定でも良いのかなと思います。

委員：この質問の「人権啓発行事」というのと「校区人権」が繋がらないです。小学校でやっている人権啓発行事と校区人権がやっている行事の違いがこの質問では分かりにくいと思います。

委員：質問が分かりにくいというよりは、自分がどちらの行事に参加しているのかが、ご本人が分かってらっしゃらないのが一番の問題だと思います。

委員：まず「校区人権を知っていますか？」というのが一番知りたいと思うのですね。学校で行われる人権の会に参加されている保護者の方はどこが主催なのか分かっておられない方が多いと思います。

委員：質問21で、「学校で行われる研修会や学習会に参加されたことはありますか？」と聞いていますね。これと質問29の違いが分かるかどうか。もしこの校区人権ということを知りたいのであれば先ほどと同じように校区人権についての説明がいます。

事務局：誰が主催しているのかというところで、主催者がPTAだけなのか、そこに校区人権が共催しているのか、よく分からないけど行ったことがあるかどうかを質問21で問うています。質問29については、校区人権の広まりについて聞いています。

委員：校区人権は大事だと思いますが、ここにもいろいろな組織の方が出てきているのに校区人権だけ

を聞くということはどうでしょうか？それだけ大切なのであれば、それだけ大切だという事が分かるような説明があれば良いと思うのですが。他にも人権に関しての組織があると思うのでその辺は大丈夫でしょうか。

事務局：校区人権は学校教育課が事務局をしている宝同協の組織なので、ピックアップして聞くことは、その意味とか成果とか今後に繋げることは可能と思います。また学校教育課が持っている事業である、地域人権教育活動推進員も校区人権に入っているからそのあたりも理由になると思います。

委員：正式名称をしっかりと書いていただいて、「校区人権啓発推進委員会を知っていますか？」と聞いて「知っている」「知らない」という選択肢も欲しいです。

委員：正式名称を書いていただくのが良いと思うのと、知りたい目的をカッコ書きにするのではなく最初にもってくる方が分かりやすいと思います。これだったら「実施している行事」を知っているかどうかを聞いているように思います。

委員長代理：この質問であれば、行事か組織かどちらを聞いているのかブレが生じているので、この流れでいくと、まずは組織を確認の方が良いと思います。組織もそれなりの説明をつけておく方が良いと思います。

委員：あと場所ですが、校区人権は市民の方が主体になっていると思うので、質問29を質問24くらいに入れて質問24から後に宝塚市教育委員会主催のものを並べた方が良いのではないのでしょうか？場所を工夫したら良いのではないのでしょうか。

委員：質問23と質問24の間に入れる感じですね。

委員：はい。その方がじっくりくる感じがします。そして聞き方は今各委員が言ってくださったようなもう少し分かりやすいものにしていただいて。

委員長代理：では質問29は事務局側で修正していただいて、位置も変えた状態で再度検討できればと思います。続いて質問30「市が実施する人権に関する事業について、どんな講演会、学習会や講座があれば参加したいと思いますか。～内容について～」について選択肢が①から⑰まであります。「市が実施」とありますが、これは教育委員会ではなく人権・平和男女協働企画課などの事業でしょうか？

事務局：質問の意図としては、学校教育課が主催するというイメージです。

委員長代理：分けておかないと越権行為になってしまいます。

委員：答える側はどちらが主催であろうが市がみんな実施すると思っています。

委員：市民意識調査では普通は鑑があって、趣旨説明文があったりしますね。たとえばそういうのがあんなら教育委員会主催ということをお断りしておけば、市が実施するという文言で問題ないと思います。

委員：他の質問では「その他」という選択肢はありますが、ここでも「その他」を選んで、これ以外の項目を自由に書けるようなことはできますか？

事務局：技術的には可能です。

委員：最初にどんな講演会・学習会と聞いているのであれば、これ以外にある人は、その他を選んで自分の聞きたい項目を書けた方が良いと思います。

委員：おそらく事務局としては、「その他」は削除して傾向を掴みたいという意図ですね。あとは、何個選べるのですか？

事務局：これは今のところはいくつでも選べます。

委員：17個全部選んでもOKですね。

委員：いくつもチェックして、たとえば「その他」もチェックできるのですか？

委員：その他がそもそもないのではないのでしょうか？

事務局：技術的にはできます。

委員：その他が多くなってしまうと確かにその他だけが増えてしまって、そこで一貫性のないものが出てくると思うので、教育委員会としてはあまり参考にならないということですね。

事務局：入れるとしても「その他」という項目だけで、記述は書かないという設定になるかなと思います。

委員長代理：これを後々じんけん講座Iに反映させようという発想はありますか？

事務局：当然ありますし、学校やPTA、校区人権にも情報提供できると思います。

委員：協力していただいた所には必ずフィードバックをしないといけないので、それは調査した側の義務です。

委員：17項目あるのですが、あと夫婦間のDVは保護者対象なら選択肢として欲しいかなと思います。その他がないのであれば、DV関係を入れても良いのかなと思いました。

委員：人権の問題は、人それぞれ受け止めが違ふと思うので、もしできるなら「その他」というよりも「その他、特に何かあれば書いてください」というような書き方はできませんか？

事務局：それは可能です。

委員：ただ「その他」と書くのではなくて、「その他何かあれば書いてください」という書き方をすれば、こういう事と思っていることが出てくると思います。

委員長代理：ではDVという項目を入れて18項目になります。

委員：DVはすごく大切だと思いますが、「その他」はやっぱり難しいと思います。逆に言うと、たとえば「人権そのもの」については何もありませんね。個別具体的な課題ばかり出てきているので「人権」みたいなものを入れてみると悩んでいる人も選びやすい項目になるかもしれないと思ったりもします。

委員長代理：「DV」、「人権について」という項目と「上記以外で何か具体的に書く」という3つ追加する形になりますか？

事務局：「人権全般」みたいな名称でしょうか？

委員：そういう風に言っているつもりはなくて、もう少し表現を変えても良いですし、別になくても良いのですが。

委員長代理：ではここは事務局に一度整理していただくということでお願いします。では次に質問31「市が実施する人権に関する事業について、どんな講演会、学習会や講座であれば参加したいと思いますか。～方法について～」について何かご意見はありますか。

委員：「子どもと一緒に参加できる」という選択肢があっても良いと思います。人権ミュージカルの応募者が多いので。

委員長代理：「子どもと一緒に参加できる」という選択肢を追加したいと思います。

委員：これもいくつ選んでも良いのですか？

事務局：はい。

委員：これも方法を聞くのであれば、「その他」が必要かなと思います。新しい方法があるかないか分かりませんが、そういうのが分かった方が良いと思います。

事務局：アンケートの趣旨として、できるだけ限定的な回答で調査したいという意図があります。その他を書くことによって集計が煩雑になることもありますが、それによって逃げ道にならないように、と思っているので、その他の部分をこの中で検討いただけると有難いです。

委員長代理：選択肢は「子どものこと」と「会の持ち方」と「会の進め方」がごちゃ混ぜになっていますね。

事務局：分けるのは可能ですが質問数が多くなります。質問を読む時間を減らして回答のテンポアップに繋がると思います。

委員：選択肢を増やすと質問30もすぐ膨らんでいくと思いますので、やはり「上記以外で何かあれば記入してください」というものを入れたら良いのではないですか？

委員長代理：では、それでいきたいと思います。次に質問32「市が実施する人権に関する事業について、どんな講演会、学習会や講座であれば参加したいと思いますか。～曜日について～」です。選択肢は①平日、②土日祝日、③長期休み（夏、冬、春休み）期間の3つです。質問33「市が実施する人権に関する事業について、どんな講演会、学習会や講座であれば参加したいと思いますか。～時間帯について～」も併せて何かご意見はありますか？

委員：時間帯についてですが、選択肢が細かい時間帯に分けられていますが、午前、午後、夜間くらいで良いのではないのでしょうか。ここまで詳しくする必要はあるのかなと思いますが。

委員：これは複数選ぶことはできますか？

事務局：複数は可能です。

委員：それならこのままでも良いと思います。

委員：質問31でオンデマンドという選択肢がありますが、オンデマンドであれば子どもが寝た後で見ることもあるので、21時以降とかも必要になってくるかもしれません。この質問は現地に行つて聞く講演会を対象にした質問ということですかね。「オンデマンドであれば遅い時間でも聞ける

ので参加したいと思う」という質問はないのでしょうか？

委員：オンデマンド自体が自分の見られる時に需要に応じて見られるのがオンデマンドなので、それは別にここに入れなくても大丈夫ではないかと思えます。選択肢⑦として18時～20時を入れる必要はないですか？

事務局：実際、主催者側が実施することが無理かと思えます。実際には17時も難しいです。⑥17時～19時を17時以降に変えたいと思えます。

事務局：最後の文言ですが「参加したいと思えますか」が良いのか「参加は可能ですか」が良いのか。可能かどうかと、実際行きたいかどうかは、ちょっと違う部分があるかと思えます。

委員：特定の講演会に参加するかどうかを尋ねているものではなくて、全般的な意志を聞きたいアンケートなので「参加したいと思えますか」が良いと思えます。

委員長代理：質問33はこれでよろしいでしょうか？

(特に意見なし)

委員長代理：これで最後まで一通り原案のところで確認をさせていただきました。少し事務局への宿題がありますので、次回1月の会の中で確認していただいて、その後依頼をしていくという流れで良かったですね。実施するタイミングや実施期間、方法などについては次回ご意見をいただきたいと思えます。

委員長代理：今回は保護者向けアンケートの検討をしていただいていますので、これをまずは完成させることを優先で行っていきたくと思えます。地域版につきましては、みなさんそれぞれお考えがあると思えますので、そのあたりも検討課題になってくると思えます。では年間計画につきまして事務局から説明があります。

事務局：来年度の年間計画を次回、委員の皆さまで検討いただければと思っています。最終的に保護者の層に対しての人権啓発の進め方とともに地域で啓発を進めていただける方の人材発掘であったり、どうすれば人権に関する事業に参加していただけるかというような課題へのお答えを2年目の最後の会ではしていただきたいと思えます。そこから逆算していただいて、計画を立てていきたいと思えます。

保護者アンケートにつきましては、集計に時間がかかりますので、今年度あと3回開催が可能な中で集計の結果以外に何をしておかないといけないかが次回見えてきたら良いかと思えますので、イメージをお持ちいただけたらと思えます。

その際にですが、実はこの人権教育推進委員会の中でこれまで「先生と市民のための人権教育・啓発パンフレット」を毎年検討しています。大きく何かを作るというよりは、日々の人権のアップデートによって、変更する部分がないかということを中心に点検を2年目の中で同時並行で進めていただく必要があると思えます。「先生」と「市民」というように2つのブロックに分かれていますので、次回、委員の皆さんの中で「先生」のページを中心に見ていただく方と「市民」のページを中心に見ていただく方の2つのグループに分かれていただこうと思っています。

委員長代理：本日はここまでにしたいと思えます。次回の推進委員会ですが、日程調整の結果1月28日火曜日の13時からでお願いしたいと思えます。

事務局：場所はまたお知らせさせていただきます。

委員長代理：これもちまして本日の会議は終了いたします。長時間どうもありがとうございました。